

25年度

2級管工事施工管理技士 実地試験解答試案

2013/11/28

■ 以下に記載する解答は、本試験実施団体による解答ではありません。受験者の参考に資するための当社の試案によるものです。

【問題 No. 1】

〔設問1〕(1)～(4)に示す図について、適当なものには○、適当でないものには×を正誤欄に記入し、×とした場合には、理由又は改善策を記述しなさい。

番号	正誤	理由又は改善策
(1)	×	所定の高さおよび位置にバックハンガーを堅固に取付ける。
(2)	×	ポンプの吸い込み管は、空気を吸い込まないようにポンプに受かって1/50～1/100の上り勾配とする。また、異形管を用いるときは偏心コニカルを用い空気だまりの発生を防止する。
(3)	×	ダクトの曲がり方向を送風機の固定方向に合わせか、送風機の回転方向を反対にする。
(4)	×	インバートを直線にせずカーブを作り、汚水の流れをスムーズにする。

(2) ポンプ吸込み管の施工要領

参考図

【設問 2】 (5)に示す図について、継手の名称と使用目的又は使用用途を記述しなさい。

継手の名称	ねじ込み式排水管継手
使用用途	排水管に使用される継手である。

【問題 No. 2】

①	矩形ダクトの場合の板厚は、高速ダクトの仕様を適用する。
②	矩形ダクトのアスペクト比はできるだけ1 に近くする。
③	ダクトの拡大は15 ° 以下、縮小は30 ° 以下とする。
④	スパイラルダクト(らせん状)は、甲はぜとする。

【問題 No. 3】

①	ねじ部には、流体に適したシーリング剤を極力少なく塗布する。
②	締付け工具は、パイプレンチ、スーパートン、チェントンなどを用いて十分締付ける。
③	ねじ接着剤には、固練りペイント、パテ、麻などは使用してはならない。
④	管の内部は、接合前に点検し、異物のないことを確認する。

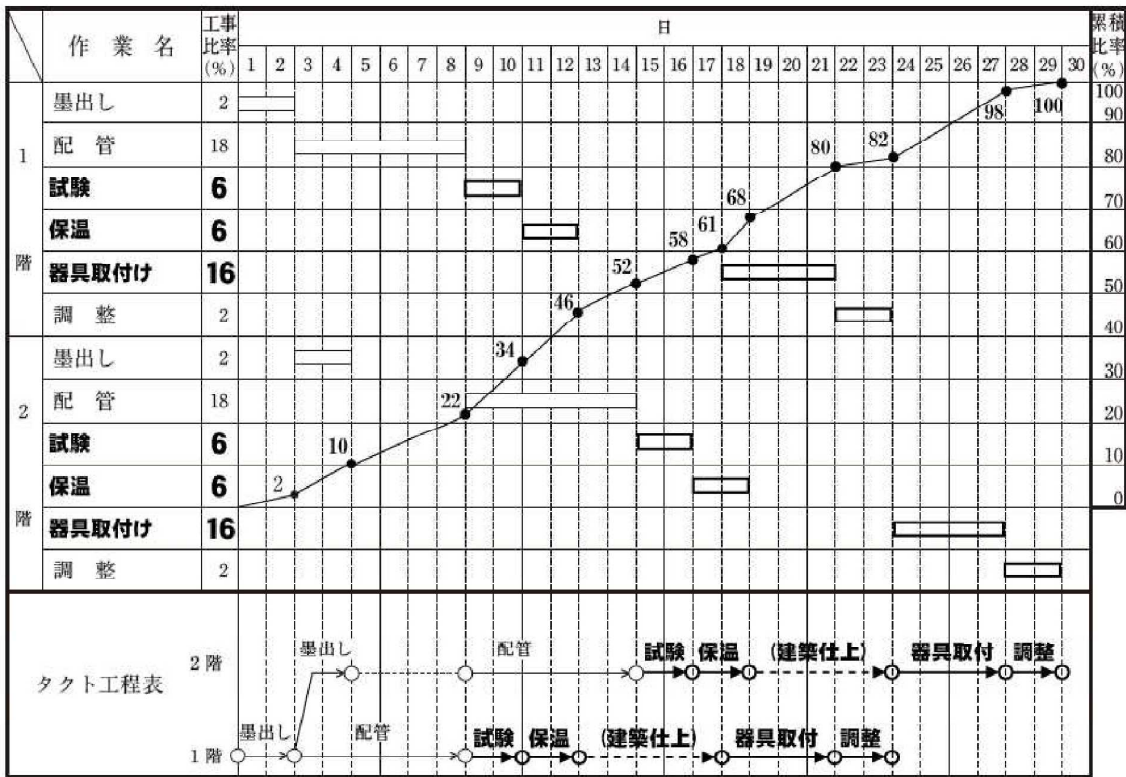
【問題 No. 3】

①	敷地排水管の延長が、その管径の120 倍を超えない範囲に設ける。
②	柵の大きさは内径又は内法の15cm 以上の円形、角形とする。
③	インバート柵のインバートは20mm 程度の落差を設ける。
④	雨水柵には150mm 以上の泥だまりを設ける。

- トラップは封水深さを50 ～ 100mm 程度とる。

【問題 No. 4】

[設問 1～4]



バーチャート工程表

設問 5

タクトの工程表の利点：各作業間の関係が容易にわかり、特に各階の作業の関連性を見るためには、適当といえる。

【問題 No. 5】

設問 1		設問 2		
A	B	C	D	E
2m	18	作業主任者	総括安全衛生 管理者	技能講習

【問題 No. 6】

施工経験記述により略（本年の設問は下記の通り）

「安全管理」上、あなたが特に重要と考えた事項、とった処置又は対策
「工程管理」上、あなたが特に重要と考えた事項、とった処置又は対策

■ 試案に関する問い合わせ、ご指摘は下記にて（メール又はFAX）受け付けております。

 （株）東北技術検定研修協会
本 社 〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26ネオハイツ勾当台2F
問い合わせ E-mail : info@tohokugiken.com
TEL 022(738)9312 FAX 022(738)9365
<small>お振込の場合は右記まで 七十七銀行 本店（普）0213691（株）東北技術検定研修協会（本社住所）〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-26-2F</small>